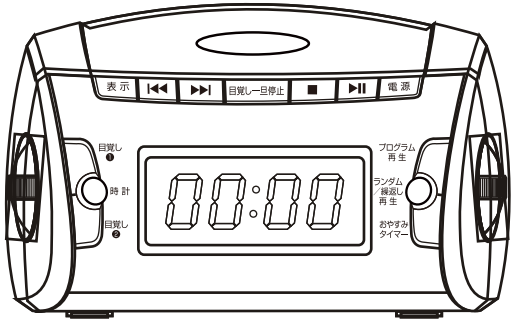
取扱説明書

Bearmax

CDラジオアラームクロック

商品型番：CDR-615（シー・ディー・アール）

本機は家庭用電源コンセントで使用します。乾電池では使用できません。



お買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説書をお読みください。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

株式会社クマザキエイム

安全のために

本製品は安全に十分配慮して設計されていますが、まちがった使い方をすると、
火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

●安全のための注意事項を守る。

4〜6ページの注意事項をよくお読みください。
商品全般の注意事項が記載されています。

●定期的に点検する。

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

●万一、異常がおきたら...

・電源を切る。
・電源プラグをコンセントから抜く。

警告表示の意味

取扱説明書には次のような表示をしています。
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

【記号の意味】

△ の記号は「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。

⃠ の記号は「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。

● の記号は「しなければならない行為」を示します。

もくじ

ご使用になる前に

安全のために	2
安全上のご注意	4〜5
ご使用の前に	6

接続と準備

接続のしかた	7
バックアップ用乾電池について	7

基本的な使い方

各部のなまえ	8
時計をあわせる	9
CDを聞く	10
ラジオを聞く	11
その他の操作	11
めざましアラームを使う	12〜13

その他

故障かな？と思ったら	14
お手入れのしかた	15
主な仕様	15
保証書とアフターサービス	16

安全上のご注意

⚠ 警 告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

交流100V以外の電圧では使用しない
自動車、船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・故障の原因になります。

コードをコンセントから抜く
雷が近づいたら、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コードを傷つけないこと
コードが破損し、火災・感電の原因になります。

分解禁止
この機器を開けたり、改造しないでください。火災・故障の原因になります。

水ぬれ禁止
近くに水の入った花瓶などを置かないようにするとともに、水がかかるような場所では使わないこと。水などが中に入った場合、火災・感電の原因になります。

内部に小さな金属類（ヘアピンなど）や燃えやすいものを入れない
火災・感電の原因になります。

ぬれ手禁止
ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないこと。感電するおそれがあります。

本体背面の通風孔をふさがないでください
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因になることがあります。

点検・修理
万一、本体を落としたり、キャビネットを破損した場合は、点検修理を依頼してください（有料）。そのまま使用すると火災等の原因になります。

⚠ 注 意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

ぐらついた台や傾いた所に置かない
落下しケガ・故障の原因になります。

温度の異常に高い場所で使用しない
通風孔をふさぐと内部温度が上昇し、火災・故障の原因なることがあります。

調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い所や、油煙や湯気が当たるような場所に置かない
火災・感電・故障の原因になることがあります。

駐車中の自動車内等、高温になる場所で保管しない
樹脂部品の変形の原因になります。

電源を切る前には音量を下げる
再度電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になります。

ご使用の前に

本機の概要

・本機は以下のディスクおよび音楽ソースに対応しています。

CD/ラジオ

＊CD–R／RWは、CDディスクの品質、録音環境により、再生できない場合があります。

本機で再生できるディスクの種類

・本機では音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証はできません。

本機の取扱いについて

・極端な高湿度、日差しの強い場所には放置しないでください。

・窓を閉め切った自動車内に放置しないでください。

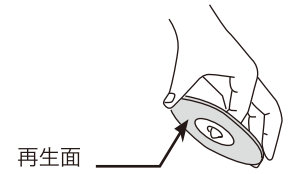
結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部が結露し、本来の性能を発揮できなくなることがあります。このような場合は、1時間ほど放置後使用するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

ディスク取扱い上のご注意

【ディスクの取扱いかた】

・再生面には手をふれないでください。



【ケースから取り出すとき】

センターホルダーを押さえ

再生面に触れないように持って取り出します。

【ケースにしまうとき】

印刷面を上にして…

上から押さえて入れます。

ディスクの保管のしかた

・直射日光の当たる場所や、温度の高い場所、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。

・ディスクは必ずケースに入れて保管してください。

ディスク使用上のご注意

・本機を持ち運びするときはディスクを必ず取り出してください。入れたまま持ち運びすると、ディスクに傷をつけたり、故障の原因になります。

・シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを痛める原因となります。

・再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

・ひびやそりのあるディスクは絶対に使用しないでください。

・ディスクに下記のマークの入ったものをご使用ください。

CD　CD-R

・ハート形や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となります。

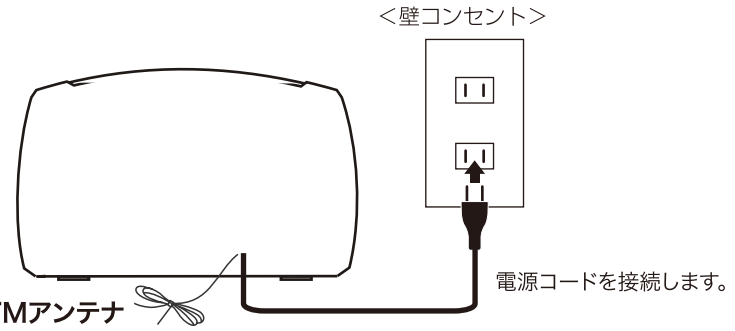
・再生中、ディスクはプレーヤー内で高速で回転しています。ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。

・CD-Rに記録されたディスクの再生は、記録状態により再生できない場合があります。

・コピーガード付きのディスクは、再生できない場合があります。

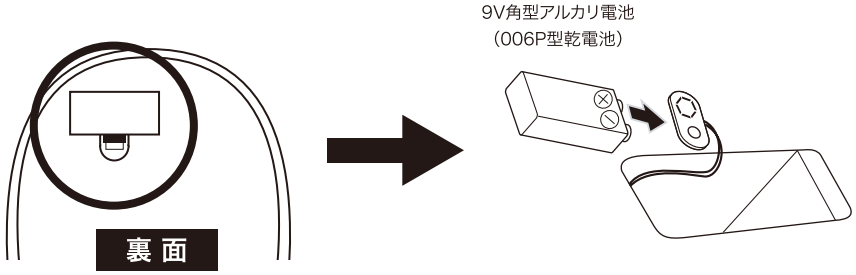
接続のしかた

本機は家庭用電源コンセントで使用します。乾電池では使用できません。



バックアップ用乾電池（市販品）について

バックアップ用乾電池を使用すると、停電や電源プラグをコンセントから抜いたときに、時計・タイマーの設定が消えるのを防ぎます。



1. 本体裏面にある乾電池の蓋を、レバーを押し上げて開けます。

2. コネクタに乾電池を取り付け、乾電池を挿入し、蓋を閉めます。

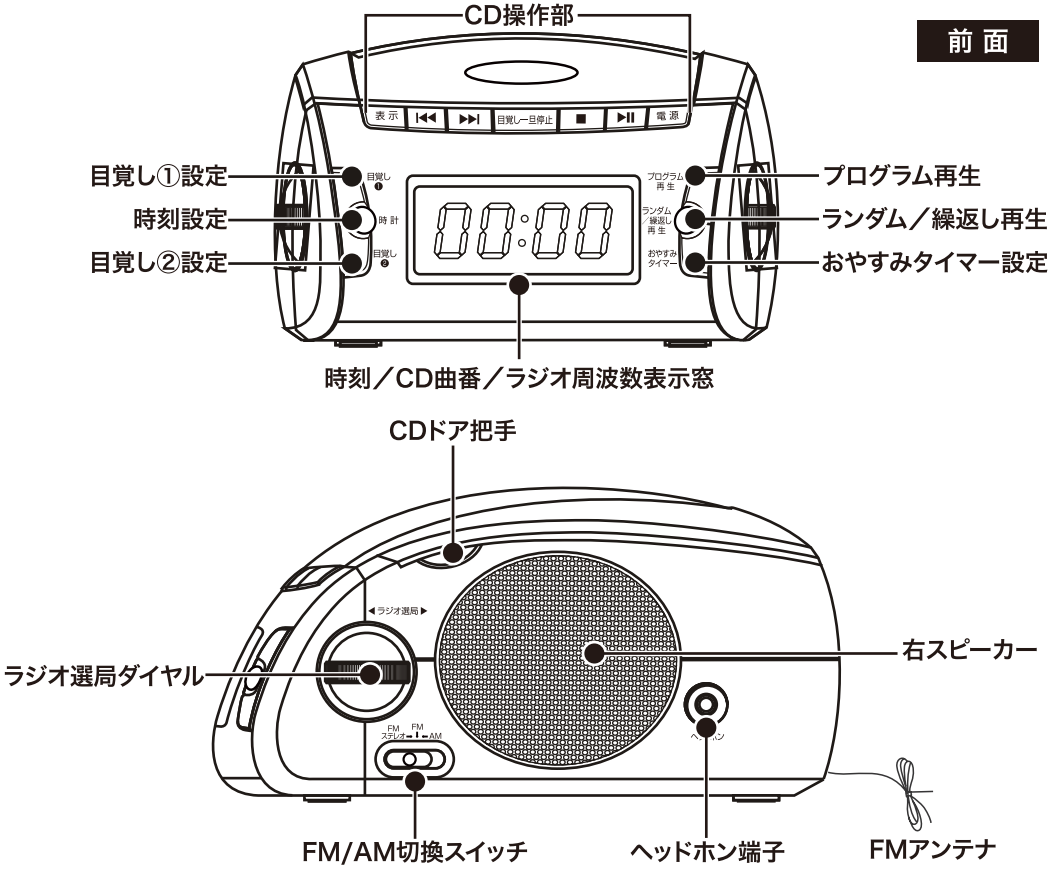
・この乾電池はバックアップ（時刻記憶）専用です。取り付けても電源は入りません。

・メモリーが消えないように、電源コードをコンセントに接続したままで乾電池を交換してください。

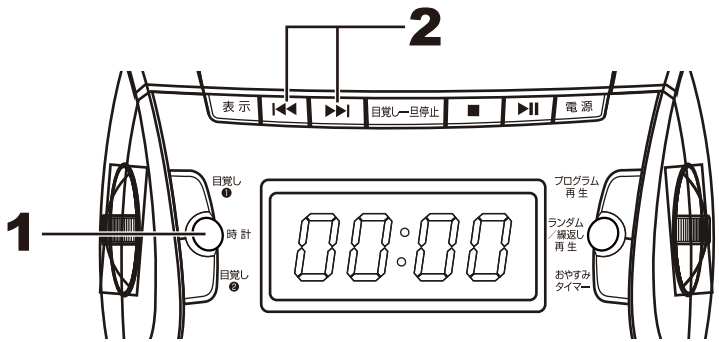
・停電時はバックアップメモリーが現在時刻を記憶していますが、表示はされません。

・バックアップ用乾電池は、コンセントを抜いた状態で約29時間持ちます。

各部のなまえ



時計を合わせる



時計を合わせる

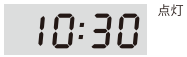
例：午前10時30分に合わせる。

1 **電源切の状態で【時計ボタン】を長押しする**
時刻設定状態（時刻が点滅）します。

2 **【早送り／早戻りボタン】を押して、“時”を設定する**
押したままにすると、時計表示が速く進みます。

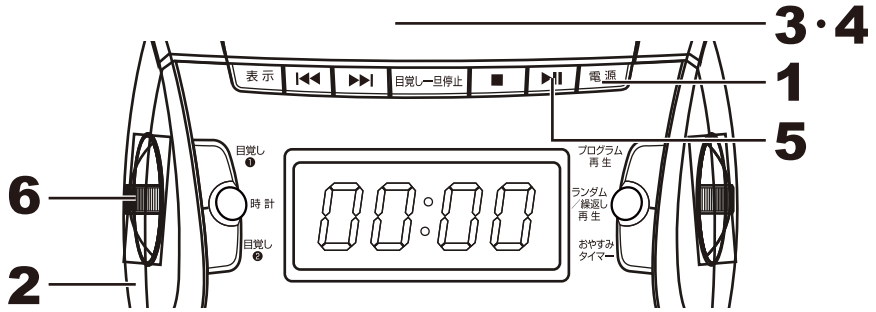
3 **再度【時計ボタン】を押してから、**
【早送り／早戻りボタン】を押して“分”を設定する

4 **もう一度【時計ボタン】を押して、設定完了です**



・数秒間操作をしないと元の状態にもどります。
・時計の精度には若干の誤差があります。定期的な時刻補正をおすすめします。

CDを聞く



基本操作

1 【電源入／切ボタン】を押す

2 【機能切換スイッチ】を“CD”にする

<本体左側面>

3 CDドアを開け、CDを入れる

ラベル面を上にしておいてください。
CDドアが開いているときは、「OP」が表示されます。

4 CDドアを閉じる

表示は --:-- が点灯したあと、全曲数が表示されます。
CDがセットされていないときは「no」が表示されます。

5 【再生/一時停止ボタン】を押す

再生が始まります。

6 【音量調節ダイヤル】で音量を調節する

<本体左側面>

再生を止める

■ を押す
停止

一時停止する

▶II を押す
再生／一時停止

もう一度押すと、再生を再開します。

曲を飛ばす（スキップ）

I◀◀ ▶▶I を押す
前曲／早戻し 次曲／早送り

早送り/早戻しする

I◀◀ ▶▶I を長押しする
前曲／早戻し 次曲／早送り

プログラム再生 お好みの曲順で再生ができます

1. CD停止状態で【プログラム再生ボタン】を押す

2. 01 が表示されたら、I◀◀ ▶▶I で選曲する

3. 【プログラム再生ボタン】を押す
選んだ曲が1曲目に設定されます。
2曲目以降、同じ操作を繰り返します。

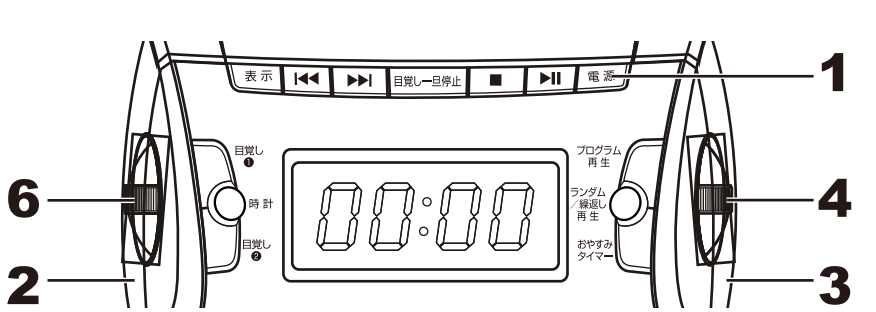
4. ▶II を押す
設定した曲順で再生します。
プログラム再生設定中は、「PROG」が点灯します。
途中で止めたいときは【一時停止ボタン】を押します。
【電源ボタン】を押すと、プログラム再生が解除になります。

ランダム／繰返し再生

CD再生中に【ランダム／繰返し再生ボタン】を押す

押すたびに
SHUFFFLE（ランダム） → REPEAT（1曲繰返し）
→ REPEAT ALL（全曲繰返し） → OFF に切り換わります。

ラジオを聞く



基本操作

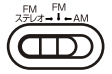
1 【電源入／切ボタン】を押す

2 【機能切換スイッチ】を“ラジオ”にする

<本体左側面>

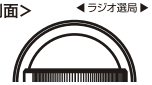
3 【FM/AM切換スイッチ】で“FM”か“AM”を選ぶ

<本体右側面>



4 【ラジオ選局ダイヤル】で周波数を合わせる

<本体右側面>



5 【アンテナ】を調節する

FM放送は、後部のFMアンテナを伸ばして良好な状態で固定します。
AM放送は、本体の向きを変えて調節します。

6 【音量調節ダイヤル】で音量を調節する

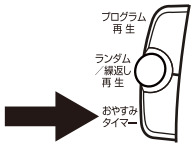
<本体左側面>

その他の操作

おやすみタイマーを使う

おやすみタイーマ設定中は「SLEEP」が点灯します。
指定した時間が経過すると、自動的にCDまたはラジオが止まり、電源が切れます。

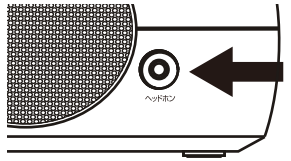
【おやすみタイマーボタン】を押す



押すたびに90～10分～00（オフ）に切り変わります。

ヘッドホンを使う

お手持ちのヘッドホンを【ヘッドホン端子】に接続します。



現在の設定を表示する

【表示切換ボタン】を押す

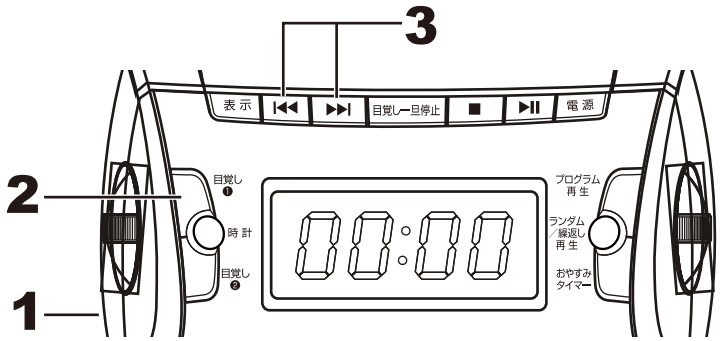
CDモード：CD再生中はCDの曲番を表示します。
ラジオモード：周波数を表示します。

めざましアラームを使う

設定した時間にCD／ラジオ／またはブザー音が鳴ります

準備：時計を合わせる。CDでめざめたいときは、CDを入れておく。

ブザー音でめざめたい時



1 **機能切換スイッチを「目覚し」にする**

<本体左側面>

目覚し時刻設定の共通操作

例：「目覚し①」を午前10時30分にあわせる。

2 **電源切の状態で【目覚し①ボタン】を長押しする**

時刻設定状態（時刻が点滅）します。

点滅

3 **【早送り／早戻りボタン】を押して“時”を設定する**

押したままにすると、時計表示が速く進みます。

点滅

4 **再度【目覚し①ボタン】を押してから、【早送り／早戻りボタン】を押して“分”を設定する**

点滅

5 **【目覚し①ボタン】を再度押し設定完了**

【目覚し①】をもう1度押すと、目覚し設定が解除されます。

点灯

＊目覚し②に設定するときは、【目覚し②ボタン】を押して同じ操作をします。

ラジオでめざめたい時

1 **機能切換スイッチを“ラジオ”にする**

あらかじめ選局をしておいてください。

<本体左側面>

2〜5 **目覚し時刻を設定する**

前項の「目覚し時刻設定の共通操作」をご参照ください。

CDでめざめたい時

1 **機能切換スイッチを“CD”にする**

あらかじめCDを入れておいてください。

<本体左側面>

2〜4 **目覚し時刻を設定する**

前項の「目覚し時刻設定の共通操作」をご参照ください。

5 **【早送り／早戻しボタン】を押し、再生したい曲番を設定する。**

6 **【目覚し①ボタン】を再度押し設定完了**

めざましを一旦停止する

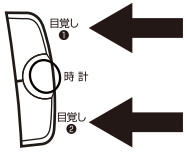
【目覚し一旦停止】を押す

約8分後、再度アラームが鳴ります。

めざましを停止する

【目覚し①】または【目覚し②】を押す

翌日の設定時刻に再度アラームが鳴ります。



めざましを解除する

【目覚し①】または【目覚し②】を押す

点灯していた「ALARM1」または「ALARM2」が消えます。

・ブザー音の音量は調整できません。

・アラーム設定後にCDやラジオを聞いても、アラームの設定には影響しません。

故障かな?と思ったら

お客様ご相談センターにご相談になる前に、もう一度下記の内容をご確認ください。
ご不明な点があるときは、保証書にある総発売元へお問い合わせください。

CD再生ができない	●ディスクは正しくセットされていますか。 ●ディスクに汚れや傷がついていませんか。 ●結露していませんか。(約1時間待ってから使用してください。) ●レンズが汚れていませんか。レンズクリーナーでお手入れしてください。指紋などがついていた場合は、綿棒で軽く拭いてください。 ●ディスクが裏返しになっていませんか。印刷面を上にしてセットしてください。
音が聞こえない。 雑音がする。	●音量が最小になっていませんか。 ●携帯電話を近づけていませんか。
アラームの設定ができない。	●時計を合わせていないと、アラームの設定はできません。時計を合わせてください。
予約時間になってもアラームが作動しない。	●【ALARM1】、【ALARM2】が点灯していますか。
AM放送がよく受信できない。 雑音やひずみが多い。	●本体の向きや設置場所を変えてみてください。 ●コンセントは単独でご使用ください。タコ足配線でのご使用はおやめください。
FM放送がよく受信できない。 雑音やひずみが多い。	●後部にあるFMアンテナを、良好な受信状態の位置にくるように調節してください。 ●テレビ、ビデオ、BSチューナー、パソコンなどの電源が入っている場合は切ってみてください。

お手入れのしかた

※クリーニングの前に必ず本機の電源を切ってください。

●本体
乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤の水溶液に浸した布を固く絞って拭いてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの化学薬品は使わないでください。(変色や変質の恐れがあります。)

●CDプレーヤー・レンズ部のクリーニング
レンズの汚れが原因で音飛びが起きたり、再生ができなくなった場合にクリーニングをしてください。
◎ゴミやほこりがついた場合
市販のブロワーでレンズを2，3回吹き、ブラシでゴミをはき出します。最後にもう一度、ブロワーでレンズを吹いてください。
◎指紋などがついた場合
ブロワーで汚れがとれないときには、市販のレンズクリーナー液を綿棒につけて拭いてください。
※ご注意
クリーナー液を綿棒につけすぎないようにご注意ください。クリーナー液が本体内部に流れ込むと、故障の原因になります。
レンズは軽く拭いてください。綿棒を強く押しつけると、レンズに傷がつくことがあります。

主な仕様

電源:	AC100V 50/60Hz　(バックアップ電源:006P乾電池)
電池持続時間:	約29時間(停電バックアップ時)
消費電力:	10W
実用最大出力:	1W + 1W
受信周波数:	FM; 76~90MHz AM; 522~1629kHz
出力端子:	ヘッドホン端子
最大外形寸法:	(約)幅172 × 奥212 × 高105mm
本体質量:	(約)1.1kg
付属品:	取扱説明書(本誌)

保証とアフターサービス

保証書は必ず「お買い上げ日・お買い上げ店名」などの記入をご確認の上、販売店からお受け取りください。
以下の内容をよくお読みいただいた後、大切に保管してください。

保　証　書

本商品が故障した場合は、下記に明示した期間、及び条件の下において無料修理あるいは交換をいたします。

商品名	CDラジオアラームクロック　CDR-615
保証期間	お買い上げ日から1年間　（ お買い上げ日　　年　　月　　日 ）
お買い上げ店	
お客様お名前	
ご住所	
お電話番号	
故障の症状	

[無料保証規定]
・正常な状態（取扱説明書に従った状態）で故障した場合には、本体商品を無料で修理又は交換させていただきます。
・保証期間はお買い上げ日より1年間となります。
・故障の場合は本保証書に状況をご記入いただき、商品と一緒にお送りください。
・使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障、損傷は保証の対象外となります。
・お買い上げ後の輸送、落下などによる故障、損傷は保証の対象外となります。
・火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、指定以外の電源（電圧、電流、周波数）による故障および損傷は保証の対象外となります。
・保証書にお買い上げの年月日、お買い上げの販売店名の記入がない場合は保証の対象外となります。
・この保証書は日本国内においてのみ有効です。
・この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※本保証書は保証規定により、無償修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※お客様の個人情報は、商品に関するご質問や故障の際、お客様と連絡を取るためにのみ使用するものです。

※商品の仕様および外観は、製品の性能改善等のため予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。

※本保証書はお客様のご購入の証明になりますので、販売店・日付が入った書類等、購入履歴が分かる控えと一緒に大切に保管してください。

※本製品は一般家庭用に設計されておりますので、業務用でご使用された際の不具合に関しては、保証の対象外となります。

輸入・総発売元：
株式会社 クマザキエイム
〒222-0013　横浜市港北区錦が丘12-17
TEL　：045-401-7486
FAX　：045-435-0057
E-mail　：info@kumazaki-aim.co.jp
URL：http://www.kumazaki-aim.co.jp

201007